

調査を指導して下さった方々のご意見

- 大和川は汚い川というイメージが先行しているため、実際に川に入ると意外と水がきれいなことに、ほとんどの参加者(子ども、先生)が驚きます。(大和川)
- 毎年、同じ地点で調査を行っているため、経年変化が分かるのが良いです。ここ数年は生物の種類等も増え、大和川の水質が改善している様子が実感できます。(大和川)
- 今回は出水後ということもあり、通常よりも生き物が少ない傾向があった。本来瀬の石にくっついているトビゲラ等がほとんど見られず、少々物足りなかったかもしれません。(猪名川)
- 調査に参加した子供は、網の使い方が上達したようです。(北川)
- 机の上ではなく、河川というフィールドでの体験が良かったと思います。(北川)



川とつきあうためのまめ知識

外来種 ～外国からつれてこられた生き物～

日本には、人の活動によって外国から入ってきた生き物(外来種)がたくさんいます。中にはもともと日本にいた生き物のすみかを奪ったり、農作物を食べたりして問題を起している生き物もいます。水のきれいさの目安となる生き物のなかでは、サカマキガイとアメリカザリガニが外来種です。



サカマキガイ

日本の自然を未来に残すために、いろいろな人たちが協力しながら、外来種対策(分布が広がるのを防いだり、すでにすんでいる外来種を取り除くなど)や調査などに取り組んでいます。



アメリカザリガニ

きれいな水を守るためにできること

きれいな水を守るためには、水を汚さない工夫、使う水の量を少なくする工夫が大切です。

- 調理くずや食べ残しが流れてしまわないように、台所では水切り袋などを使いましょう。
- トイレは使用後にこまめに掃除をしましょう。後から掃除すると、洗剤やたくさんの水が必要になります。
- お風呂では石鹸、シャンプー、リンスを使いすぎないようにしましょう。
- 歯磨きはコップを使い、洗顔は洗面器を使うようにして、水道の水を出しっぱなしにするのはやめましょう。

川のゴミ

川にはたくさんのゴミがあります。ゴミは放っておくと、自然に悪いものが溶け出したり、動物が誤って飲み込んだりするなど、自然に悪い影響があります。また川にゴミを捨てることは法律で禁止されています。

きれいな川にしていくためには、水質を守るだけでなくゴミを捨てないことも大切です。

国土交通省では川のゴミを減らす取り組みとして、市民の皆さんと一緒に川の掃除などを行っています。

